

特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R5.5.29(月)

第1号

文責 鈴木 尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいで活動している事業です。

今年度も、探鳥会をはじめとする愛鳥活動や地域の方を講師に迎えた地域を学ぶ学習を行います。子どもたちが自分の住む豊松地区を知ること、地域への愛着を深めていきます。

「自然と歴史いっぱい 野鳥いっぱい 豊松小」

令和5年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書							
学校番号		34	豊田市立 豊松小 学校		代表 今井 和彦		
※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。							
テーマ	自然と歴史いっぱい 野鳥いっぱい 豊松小				分野	c	自然体験
	サブテーマ ～ 自然に親しみ、学び、働きかける子どもの育成 ～				i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねら）	○学校を取り巻く豊かな自然環境と豊富な歴史を生かした活動を進める。 ・野鳥に親しみ、学び、豊かな自然に進んで働きかける子どもを育てる。 ・校区の自然や歴史を訪ねて歩く「六所の集い」を実践し、地域を愛する心を育てる。 ・地域講師による「豊松小学校の歴史やよさを語る会」「仁王川を語る会」などを通して、地域の良さを学ぶ姿勢を育てる。 ○恵まれた自然環境を生かすために、校地内の環境整備を進める。 ・学校畑の整備活用、ササユリの保護、樹木の剪定や伐採、施肥などを進める。 ・校内整備には、時間と手間がかかるので、担当教員が児童・教員の指導・助言に時間をかけられるよう校内整備員の力を借りて、作業を進めていく。 ○全校でおよそ40名という少人数を生かした活動を進める。 ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくりに努める。 ・子ども一人一人を支援し、心に不安を抱えている子どもへの相談活動を行うために、心の相談員を配置する。						
	（活動内容） ○自然環境を生かした活動の推進 ・愛鳥活動…野鳥の観察と学習 ・緑の少年団活動の推進…自然愛護・自然体験活動 ・地域探訪学習の推進…「六所の集い」の計画と実践 ○生活科・総合的な学習の時間を通して学ぶ自然と関わる学習 ・ササユリ生育のための環境整備 ・学校畑を利用した野菜栽培 ・花と緑の豊かな学校環境作り ・校内整備…校内整備員による樹木の剪定や草取りなどの環境整備 ○少人数（全校でおよそ40名）を生かした活動の推進 ・縦割り活動を軸とした温かい人間関係づくり…心の相談員による支援 ・読書に親しむことによる心の教育…保護者や地域の方による読み聞かせ ・地域講師による学習支援 （活動計画） 前期…探鳥会、ササユリ保護活動、緑の少年団学習会に参加、六所の集い 後期…探鳥会、野鳥の鳴き声聞き分け・姿見分けコンクール、ジャンボカルタ会 年間…環境保護活動、花と緑の環境整備、学校畑で野菜栽培、野鳥の観察と学習、地域の歴史や良さを語る会						
配置補助	○校内整備員によって、校舎内外の樹木や学校畑などが、常に整備されている。 ○心の相談員によって、心に悩みや不安を持つ子どもへの支援体制が強化できる。						
実績・効果待たされる	○地域講師の指導を受けたり、自分で調べたりして、野鳥についての知識や野鳥の観察技能が高まり、他の分野にもそれが生きている。 ○愛鳥活動、ササユリの自然保護活動等を通して、環境保護意識が高まっている。 ○「六所の集い」（地域探訪）の活動を通して、地域のよさの再発見や地域の人々とのふれあいができている。 ○夏休みに実施される緑の少年団の学習会に毎年参加し、他校との交流や自然に関する学習を通して、自然愛護の精神がより高まっている。 ○豊松小ホームページ、特色ある学校づくり推進事業通信、学校外部評価（保護者アンケート）の公開資料（まとめ）の中で、本校の取組の様子を発信している。						
検証方法	○特色ある学校づくり支援事業に関わる学習や行事について、児童の振り返りや保護者の感想、学校外部評価(保護者アンケート)によって、具体的な成果や改善点を把握していく。 ○学校運営協議会、民生児童委員・主任児童委員連絡会で、活動の様子や保護者の声を報告し、感想や助言をいただき、以後の活動に反映させていく。 ○年度末の職員会議や現職教育全体会で、1年間の成果の総括を行う。						

